

遠 今後、職場でも応援に行く可能性があると聞いています。燃えた木はチェーンソーの刃が立たず、炭を切っているような状態で、伐採作業にはどれだけの時間がかかるかわからないです。さらに海水消火で土壌への影響も心配です。

議 次に植田さんが取り組みたいことは何ですか。

植 こどもたちに海を身近に感じ、親しむ機会を増やしていきたい。来店者の声を聞くと、「海との距離」を感じていることに気づきます。安全面の配慮は重要ですが、それがかえって海の魅力を活かしきれていない要因になっているかと。海は一生なくならない財産だと思っているので、私だったらどう活用していくか、それって他の分野でもた

くさんあると思うんです。海の魅力を活かすことによって、さらなる復興にもつながると思っています。



菅 陸前高田の魅力をもっと多くの人に届けたいです。着任当初はインスタグラムで「陸前高田」と検索しても魅力的な情報が少なかったけど、今はビジュアル的に興味を持ってもらえるよう力を入れていきます。観光の周遊性も課題で、高田松原だけでなく、市内のお店も利用してもらえよう。な夏の企画にも取り組んでいます。

議 佐々木朗希選手のマンホールも設置されましたが、どうですか。

菅 観光物産協会がある「まちの縁側」に設置されていて、1日500人近く来訪された日もあり、野球の力を感じました。マンホールをきっかけに観光グッズを購入してくれる方もいて、今後は市内のお店の紹介にもつながっていききたいです。

陸前高田に住む理由

議 移住した菅野さんと植田さんが陸前高田を選んだ理由を教えてください。

菅 やはり一番は人のあたたかさだと思います。防災スタディツアーで初めて訪れた時、うごく七夕に参加させてもらいました。地元の方との交流

や「亡くなった魂が迷わないように七夕をやる」という話を聞き、人のぬくもりを強く感じました。

植 私は「可能性の高さ」に惹かれました。陸前高田には、1位のもの、は少ないですが、2位や3位のもの、はたくさんあると思っています。その2位・3位のを1位に見せていける余地があるという意味で、非常に可能性があるまちだと感じました。

議 遠藤さん、佐藤さん、藤丸さんが地元に残った理由は。

遠 私はもともと人混みが苦手で、都会には住めないと思っていました。陸前高田の自然や空気が自分に合っていますし、祭りや文化が地域に根づいているのも魅力だと感

じ、ここに住み続けています。



佐 進学時に一関に住みましたが、近くに大きな店があっても意外と行かなかったんです。陸前高田は、買い物に行けば知り合いと会えて安心する。そういった距離感が、私にはちょうどいいと感じています。「陸前高田がいい」というより、「陸前高田でいい」と思うようになりました。



藤 バイクや車が好きなので、ツーリングで見る景色がすごくいいです。若者向けの施設は少ないけど、自然の良さを求めている人もいると思います。でも、カラオケやファーストフード店があれば、もっといいんですけど。のどから手が出るほど飛び付きますけどね。



遠 市街地の空き地を見ると、ある程度の店や映画館が欲しいなって思いますね。

植 都会に住んでいても、近くにお店があっても意外と行かないですよ。確かに陸前高田には

ファーストフード店はないですが、おいしい飲食店はたくさんあると思うので。ちなみに職場に移住者の方はいらっしゃいますか？

遠 いますね。都会の生活に疲れて移住してきた人で、もともと田舎暮らしへの憧れがあったようです。田舎の人は都会に、都会の人は田舎に憧れる……って、あるあるです。

植 ないものねだりなんですよ。田舎に呼び込むチャンスなんじゃないですかね。都会の人口の方が多いから。

佐 実は、私、菅野さんが担当しているインスタグラム見ていたんですが、すごいクオリティが高くて、「陸前高田にこんなの作れる人いるの？」って思っていました。陸前高

田の人だけでできないことを補ってもらっているんだなって、今日実感しました。

遠 確かにそうだと思います。

植 私も菅野さんの情報発信にはいつも助けられています。今後、観光分野で何か必要だと思うことはありますか。

菅 今の課題は、数百人規模の観光客を受け入れる体制がないことです。このままではオーバーツーリズムになってしまいう可能性もあります。だからこそ、受け入れ環境の整備が必要だと感じています。植田さんのSUPの受け入れ人数の上限の課題も同じですよ？



植 そうなんです。始めたばかりでガイドする人数も少ないので、あまり大人数は受け入れられないですね。でも、今度ドローイングができるので、それは楽しみでもありますね。

議 残念ですが時間が来てしまいました。みなさんの陸前高田を思う気持ちが伝わる座談会でした。本日はありがとうございました。

